



Release Notes—Version 4.0

このバージョンは、Ki Pro Miniに改良された最新の機能を提供します。特徴と設定についてはクイックスタートガイドとインストレーション&オペレーションユーザーガイドを参照してください。（これらのドキュメントは、製品に同梱されるCDに収められています。）

新機能

- ・ Avid DNxHDエンコードへの対応を追加
この新機能によりユーザーは以前より提供されるAppleProRes422 QuickTimeファイル収録の加えて、Avid DNxHD QuickTimeファイルの収録が可能となります。

Ki Pro Miniが作成するAvid DNxHD QuickTimeを使用する上での重要事項

- ・ Ki Pro Miniが作成するAvid DNxHD QuickTimeファイルは、Avid Media Composerを使用するために設計されています。これらのQuickTimeファイルは、他のノンリニア編集システムでも（適切なAvid QuickTimeコーデックパッケージがインストールされている場合）読み込む事が可能ですが、AJAはこれら他のノンリニア編集システムにおけるDNxHD QuickTimeファイルの動作や性能の検証は行っていません。
- ・ ノンリニア編集システム間など広範にわたり使用する場合は、Ki Pro製品によって作成されるApple ProRes422 QuickTimeファイルを使用することをお勧めします。
- ・ Ki Pro Miniによって作成されたAvid DNxHDファイルをAvid Media Composerで使用する場合は、Avid Media Composer上で提供される”AMAファイルへのリンク”機能の使用をお勧めします。
- ・ Avidがインストールされていないシステム上で使用するためにはAvidコーデックパッケージを入手、インストールして下さい。 http://avid.force.com/pkb/articles/en_US/Download/en423319

改良と修正点

- ・ 1080i25fps素材のループ再生において、オーディオ出力がされなくなる問題を修正
- ・ バッテリー駆動時の電圧変化に対応する処理機構を改善
- ・ SDI RP188タイムコードのわずかな破綻に対する感度を改善

既知の問題

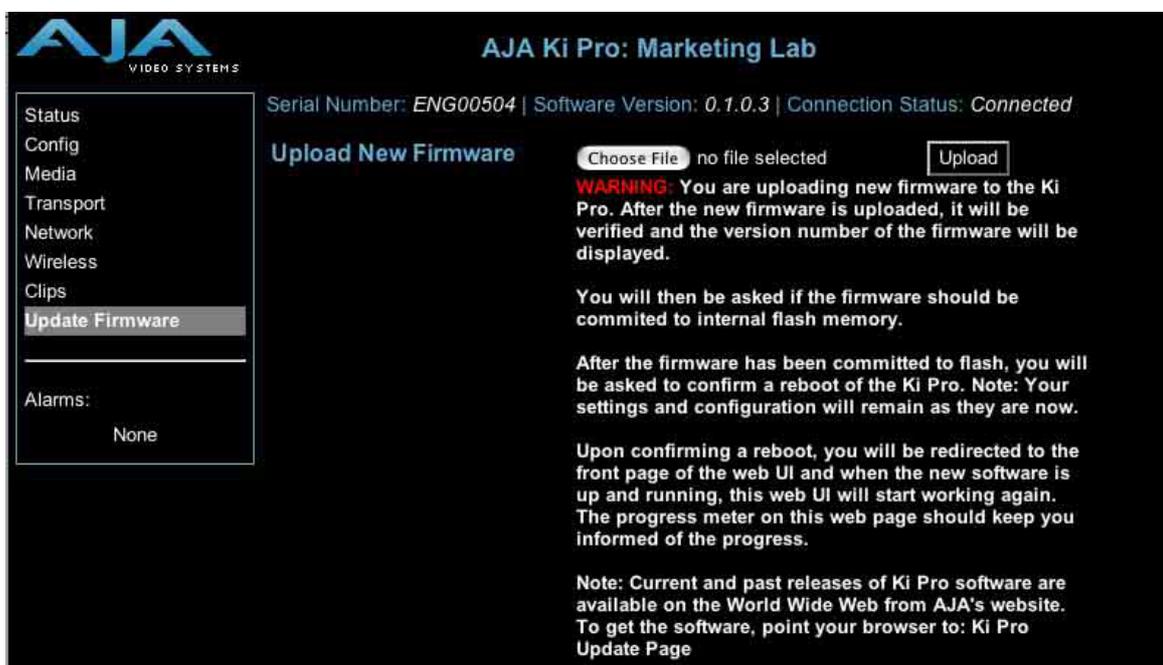
- ・ コンフィグ13.1 Camera Data メニューパラメータでREDを選択するとき、v4.0ファームウェアにおいてこの機能は期待通りに動作していません。”RED ONE”や”RED Epic”と組み合わせて使用したいREDユーザーは、v3.0ファームウェアを使用し続けることをお勧めします。”Canon XF”と”C300”の選択しての使用においては、v4.0ファームウェアで期待通りに動作します。

使用上の注意点

- ・ ファームウェアのアップデートを行った場合、WebブラウザとKi Proとの接続は解除されます。再接続を行うには、ウェブブラウザのページをリロードしてください。
- ・ Ki Proで収録したクリップをFinal Cut Proに読み込んだ場合、「最適化されていない」旨のダイアログが表示される場合がありますが、これらのクリップは問題なくFinal Cut Proで使用できます。
- ・ Ki Proで収録中にファームウェアのアップデートを行わないでください。アップデートを実行する前にはKi Proが停止状態にあることを確認してください。

Ki Pro ファームウェアアップデート方法

ファームウェアのアップデートは、WEBブラウザ経由で行います。



ソフトウェア更新の準備

1. 最新のKi Proソフトウェアをダウンロードします。

<http://www.aja-jp.com/download/ki-pro/>

2. ダウンロードしたファイルを解凍します。

Ki Proのソフトウェアアップデートはzipファイルです。一般の解凍ソフトを使って解凍してください。Ki Proにインストールするソフトウェアは、kipro_ver_1.0.1.0.bin等のファイル名で表示されます。

注：PCまたはMac OSの設定によっては、拡張子".bin"はファイルディレクトリ上で表示されない場合があります。

ソフトウェアをアップロードしてインストールする

1. Ki Pro WEBページの左側にあるナビゲーションボックス下部の“Update Firmware” をクリックして、Ki Proのアップデートページを表示します。
2. “Choose File” ボタンをクリックし、あらかじめダウンロード後に解凍したファイルを選択します。
3. ファイルを選択したら、“Upload” ボタンをクリックします。選択したファイルがKi Proにアップロードされ、有効性がチェックされます。ファイルが不完全である場合や、破損している場合、Ki Proのソフトウェアでない場合はエラーメッセージが表示されます。
4. 完了するまで数分程待ちます。完了後はKi Proの再起動が必要です。再起動後、Ki Proは新しいソフトウェアで動作し、アップデート前のKi Proの各種設定は保持されます。

ソフトウェアのバージョンはKi ProのすべてのWEB画面の一番上に表示されます。新しいソフトウェアが動作していることを確認してください。何らかの理由でアップデートされていなかった場合は、上記の手順をもう一度やりなおしてください。

注：ブラウザによっては、ソフトウェアがアップデートされていても、Retryページが表示されることがあります。そのような場合は、再度アップデートする前に、一度WEBページをリロードしてバージョンを確認してください。ページ上部に新しいバージョン番号が表示されている場合は、ソフトウェアのアップデートは成功しています。バージョンが古い場合はRetryをクリックしてください。

ソフトウェアのダウンロード中に電源供給が途切れた場合、Ki Proは古いバージョンのソフトウェアを起動します。アップデートを最初からやり直してください。Ki Proの安全重視設計により、アップデートが失敗したときのために、常にひとつ前のソフトウェアのコピーを保持しています。

注意：Ki Proをバージョンアップするときは、AC電源またはフル充電したバッテリーのご使用をお勧めします。